

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
パリ総合美容専門学校千葉校	昭和53年4月1日	櫻井 美津	〒260-0854 千葉市中央区長洲1-15-12 (電話) 043-227-7446			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人パリ美容国際学園	平成16年3月30日	北島 吉春	〒260-0854 千葉市中央区長洲1-15-12 (電話) 043-227-7446			
目 的	美容室における最新の動向、技術、ニーズを修得し、即戦力になる美容師養成を目指す					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
美容	専門課程	総合美容科	2年昼	2010単位時間 (又は単位)	平成20年2月26日	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	630単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	810単位時間 (又は単位)	570単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160人	112人	11人	6人	17人		
学期制度	■ 1学期：4月1日から8月31日まで ■ 2学期：9月1日から12月31日まで ■ 3学期：1月1日から3月31日まで			成績評価	■成績表 (有) 無) ■成績評価の基準・方法について 学期ごとの試験と日常生活態度、授業姿勢や欠課次数を総合的に評価する。	
長期休み	■学年始め：4月1日 ■夏 季：7月22日から8月31日まで ■冬 季：12月17日から1月5日まで ■年 末：3月16日から3月31日まで			卒業・進級条件	■進級条件 進級試験(実技・学科)に合格し、欠課時間数が90時間以内であること ■卒業条件 卒業試験に合格し、履修時間数が法定時間数に達し、提出物を全て提出していること 授業料に未納がないこと	

生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 学生との個人面談や保護者を含めた三者面談等をおこなう	課外活動	■課外活動の種類 小学生へのお仕事体験ブース 母の日コンサート (ヘアショー) ■サークル活動 (有・無)
就職等の状況	■主な就職先、業界等 美容室、ブライダル業界、ネイルサロン、エステサロン ■就職率 <sup>*1</sup> 100% ■卒業者に占める就職者の割合 <sup>*2</sup> 96.4% ■その他 (任意) (平成27年度卒業者に関する平成28年5月時点の情報)	主な資格・検定	美容師免許 一級着装着付師 ブライダルプランナー3級・2級 ネイル3級・2級 認定エステティシャン メイク3級・2級 色彩検定3級・2級 アイリスト技能検定3級・2級
中途退学の現状	■中途退学者 10 名 ■中退率 7.9 % 平成 27年 4月 1日 在学者 113 名 (平成 27年 4月入学者を含む) 平成 28年 3月 31日 在学者 104 名 (平成 28年 3月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 経済的な理由、進路変更等の理由が挙げられる。 ■中退防止のための取組 ・学費の分割納付サポートにより、通常納付が困難な家庭に対して学費支払の負担を軽減している。 ・生徒が進路に迷いが生じた場合、学担任教員・生徒・保護者の3名で面談を行う。必要であれば教務主任や校長も交えている。 ・全クラスを少人数制に設定することで生徒一人ひとりを管理し、各担任教員による日常的な技術面・学生生活面でのサポートにより美容への意欲を継続させている。		
ホームページ	URL : <a href="http://www.paribi.com">www.paribi.com</a>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職 (内定) 状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除いたものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員 (1年以上の非正規の職員として就職した者を含む) として最終的に就職した者 (企業等から採用通知などが出された者) をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職 (内定) 状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない (就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

- ・美容関係の組合の役職員、県内に美容サロンを数店舗経営する役職員や、高等学校校長を歴任した教育指導に厚い人物を教育課程編成委員の委員として編成する。
- ・教育課程編成委員会委員や連携企業より得た情報によって美容業界の動向を把握し、時代に適応した即戦力となる人材を輩出する教育をテーマとする。
- ・美容技術や知識のみに限らず、美容師としての心構えや接客に必要なホスピタリティにも重点をおき、精神面向上に対する授業を行うことも必要としている。より幅広い経験が出来る授業を取り入れることを課題とし、授業編成を行っている。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 27 年 10 月 1 日現在

名 前	所 属
大串 哲史	株式会社オオクシ
松原 正左右	有限会社ビューティマツバラ
佐々木 純	千葉県高等学校 PTA 連合会
神田 範子	千葉県美容講師会
高橋 修	学校法人パリ美容国際学園
櫻井 美津	パリ総合美容専門学校千葉校
櫻井 秀文	パリ総合美容専門学校千葉校

(開催日時)

後日改めて決定する。

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業連携授業では『就職後に役立つ実践的な技術の習得』を方針とし、現役のサロンスタイリスト 2 名を外部講師として、流動的な美容業界の動向をリアルタイムに取り入れた授業を行っている。基礎・基本、技術に必要な理論等は通常授業で行っている為、より実践的な流行に沿った美容技術に重点を置き、就職後に即戦力となる人材育成を目指している。

また、シャンプーやブローといったアシスタント時代から行う技術の他、ウィッグによるカラーやパーマ等の経験数が必要な技術も計画的に取り入れた実用的な授業を行うことによって、美容への意欲と意識を高めている。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
美容総合技術	必修科目において習得した基本的技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身に付けさせるとともに、自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣づけさせる。	apish

## 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

指導の成果として表れるのが美容師国家試験合格である。全生徒合格の為に生徒一人ひとりに対しきめ細やかなサポート体制が可能な技術・指導力の向上を目指している。

企業が実施する研修に参加することで基本能力・専門技術の修得を行っている。

また、本校に在籍する教育理論責任者による教育研修によって生活指導力を向上させ、生徒の精神面での安定を図るほか、技術指導責任者による技術指導を行い、教員の実技の発展による授業内容の工夫や改善に努めている。

#### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年10月1日現在

名 前	所 属
大串 哲史	株式会社オオクシ
松原 正左右	有限会社ビューティマツバラ
神田 範子	千葉県美容講師会
佐々木 純	千葉県高等学校 PTA 連合会
高橋 修	学校法人パリ美容国際学園
櫻井 美津	パリ総合美容専門学校千葉校
櫻井 秀文	パリ総合美容専門学校千葉校

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: [www.paribi.com/files/9414/0858/1392/26.7.pdf](http://www.paribi.com/files/9414/0858/1392/26.7.pdf)

#### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: [www.paribi.com/files/9414/0858/1392/26.7.pdf](http://www.paribi.com/files/9414/0858/1392/26.7.pdf)

授業科目等の概要

(専門課程総合美容科) 平成 26 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			関係法規・制度	衛生行政、美容師法など、美容にかかわる法律、制度について学ぶ	1通	30	1	○		
○			衛生管理	美容所における公衆衛生、予防衛生、環境対策について学び、消毒の方法や操作方法などを学ぶ	1・2通	90	3	○		
○			美容保健	人が美しく生きるための生理学と、皮膚や毛髪の構造・皮膚疾患について学ぶ	1・2通	120	4	○		
○			美容の物理・化学	ドライヤーなどの器具の構造や、カラー剤・パーマ剤の薬品成分・化粧品原料とその特性について学ぶ	1・2通	90	3	○		
○			美容文化論	国内外のファッション史とそれに連動したヘア・スタイルや、色彩学と造形の基本をデザインなどを交えて学ぶ	1・2通	90	3	○		
○			美容技術理論	美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣とを養ったり、美容器具の正しい取扱の方法と美容の基礎的技術を指導し習熟させる。	1・2通	120	4	○		
○			美容運営管理	お客様に対する接客マナーの基本や、顧客ニーズに合わせたマーケティング戦略などを学ぶ	1・2通	60	2	○		
○			美容実習	美容技術理論に即した基本技術を1年次に習得し、二年次にはより実践的な実習を繰り返し、即サロンで活躍できる技術を身につける	1・2通	810	27			○
○			生活の科学	地球温暖化や酸性雨、人体に有害な化学物質について学ぶ	2通	30	1	○		
○			美容総合技術	必修科目において習得した基本的技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身に付けさせるとともに、自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣づけさせる	1・2通	570	19			○
合計				10 科目	2010 単位時間 ( 67 単位)					

消費収支計算書

平成27年4月1日から  
平成28年3月31日まで

(単位 円)

消費支出の部	
科 目	
人件費	224,497,830
教育研究経費	156,475,733
管理経費	96,590,222
借入金等利息	2,532,572
徴収不能引当金等繰入額	3,800,623
資産処分差額	-
消費支出合計	483,896,980
当年度消費収入超過額	8,445,658
前年度繰越消費支出超過額	△61,290,734
基本金取崩額	-
翌年度繰越消費支出超過額	△52,845,076

消費収入の部	
科 目	決算
学生生徒等納付金	458,972,293
手数料	2,283,000
補助金	24,062,330
資産運用収入	8,208,148
事業収入	4,428,720
雑収入	7,314,435
帰属収入合計	505,268,926
基本金組入額合計	△12,926,288
消費収入の部合計	492,342,638

貸借対照表

平成28年3月31日

(単位 円)

資産の部	
科 目	本年度末
固定資産	1,328,665,364
有形固定資産	1,213,381,412
その他の固定資産	115,283,952
流動資産	551,802,290
現金預金	504,686,731
その他流動資産	47,115,559
資産の部合計	1,880,467,654

負債の部	
科 目	本年度末
固定負債	375,400,700
長期借入金	352,646,000
その他固定負債	22,754,700
流動負債	231,465,070
前受金	147,336,786
その他流動負債	84,128,284
負債の部合計	606,865,770
基本金の部	
科 目	本年度末
基本金	1,326,446,960
消費収支差額の部	
翌年度繰越消費支出超過額	△52,845,076
正味財産	1,273,601,884
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	1,880,467,654

※ 翌年度繰越消費支出超過額の△は、学校法人会計独特な会計処理によるもので、企業会計の損益を表わすものではありません。基本金合計から△を控除した金額が正味財産を表わしています。

※

### 1. 教育理念・目的・育成人材像

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
② 学校における職業教育の特色は何か	3
③ 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
④ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3
⑤ 各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	4

### 2. 学校運営

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 目的等に沿った運営方針が策定されているか	3
② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
③ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
④ 人事、給与に関する規定等は整備されているか	3
⑤ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
⑥ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	2
⑦ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
⑧ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

### 3. 教育活動

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
② 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
③ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
④ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
⑤ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
⑥ 関連分野における実践的な職業教育（連携による実習）が体系的に位置づけられているか	4
⑦ 授業評価の実施・評価体制はあるか	4

⑧ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
⑨ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
⑩ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
⑪ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
⑫ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
⑬ 資質向上のための取組が行われているか	2
⑭ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	2

#### 4. 学修成果

適切・・・4    ほぼ適切・・・3    やや不適切・・・2    不適切・・・1

評価項目	評価
① 就職率の向上が図られているか	4
② 資格取得率の向上が図られているか	4
③ 退学率の低減が図られているか	3
④ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2

#### 5. 学生支援

適切・・・4    ほぼ適切・・・3    やや不適切・・・2    不適切・・・1

評価項目	評価
① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
② 学生相談に関する体制は整備されているか	3
③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
④ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
⑤ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	2
⑥ 学生の生活環境への支援は行われているか	3
⑦ 保護者と適切に連携しているか	4
⑧ 卒業生への支援体制はあるか	3
⑨ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	2

#### 6. 教育環境

適切・・・4    ほぼ適切・・・3    やや不適切・・・2    不適切・・・1

評価項目	評価
① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
② 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	3



③ 防災に対する体制は整備されているか	3
---------------------	---

#### 7. 学生の受入募集

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 学生募集活動は、適正に行われているか	4
② 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4
③ 学生納付金は妥当なものとなっているか	4

#### 8. 財務

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
② 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
③ 財務について会計監査が適正に行われているか	3
④ 財務情報公開の体制整備はできているか	4

#### 9. 法令等の遵守

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
② 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
③ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
④ 自己評価結果を公開しているか	4

<以下は任意>

#### 10. 社会貢献・地域貢献

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
② 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
③ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

学校関係者評価結果公開資料

1. 教育理念・目的・育成人材像

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
② 学校における職業教育の特色は何か	4
③ 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
④ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	2
⑤ 各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	4

2. 学校運営

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
③ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
④ 人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
⑤ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
⑥ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
⑦ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
⑧ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2

3. 教育活動

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
② 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
③ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
④ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
⑤ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
⑥ 関連分野における実践的な職業教育（連携による実習）が体系的に位置づけられているか	4
⑦ 授業評価の実施・評価体制はあるか	4

⑧ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
⑨ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
⑩ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
⑪ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
⑫ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
⑬ 資質向上のための取組が行われているか	4
⑭ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

#### 4. 学修成果

適切・・・4    ほぼ適切・・・3    やや不適切・・・2    不適切・・・1

評価項目	評価
① 就職率の向上が図られているか	4
② 資格取得率の向上が図られているか	4
③ 退学率の低減が図られているか	3
④ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

#### 5. 学生支援

適切・・・4    ほぼ適切・・・3    やや不適切・・・2    不適切・・・1

評価項目	評価
① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
② 学生相談に関する体制は整備されているか	3
③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
④ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
⑤ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
⑥ 学生の生活環境への支援は行われているか	4
⑦ 保護者と適切に連携しているか	4
⑧ 卒業生への支援体制はあるか	3
⑨ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

#### 6. 教育環境

適切・・・4    ほぼ適切・・・3    やや不適切・・・2    不適切・・・1

評価項目	評価
① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2
② 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	3

② 防災に対する体制は整備されているか	3
---------------------	---

#### 7. 学生の受入募集

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 学生募集活動は、適正に行われているか	4
② 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4
③ 学生納付金は妥当なものとなっているか	4

#### 8. 財務

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
② 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
③ 財務について会計監査が適正に行われているか	4
④ 財務情報公開の体制整備はできているか	4

#### 9. 法令等の遵守

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
③ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
④ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
④ 自己評価結果を公開しているか	4

<以下は任意>

#### 10. 社会貢献・地域貢献

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
② 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
③ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3